

ノロウイルス 感染対策のポイント

☆ 手洗い・手指消毒の徹底がポイント

- ① トイレ使用后、調理の前、食事の前には石鹸（ポンプ式）と流水で30秒以上の手洗いを実施し、接触感染・経口感染を防止する。
- ② 汚染の可能性のある環境に手が触れたら、手の衛生（手洗い・手指消毒）を行う。

☆ 環境の清潔保持の徹底がポイント

- ① 人の手が良く触れる可能性のある場所（例：手すり、ドアノブ、水道の蛇口、ベッド周り、車椅子の押し手、机、椅子など）を次亜塩素酸ナトリウム等でこまめに清掃・消毒する。

☆ 吐物や下痢便など、処理時のポイント

- ① 処理者はガウン、マスク、手袋、ゴーグルを着用する。
- ② 速やかに処理し、吐物等の乾燥による飛散を防ぐ。
- ③ 消毒は決められた手順で実施し、消毒薬の濃度・時間を確実に守る。
- ④ 手袋は毎回交換し、手袋を外した後は手の衛生を実施する。

【ノロウイルスの特徴】

★ ウイルス性胃腸炎の主な原因ウイルス

- ★ 11月～3月の冬季にかけて流行することが多い
- ★ 感染経路は主に経口感染だが、接触・飛沫感染もある
- ★ 感染部位は小腸の上皮細胞と考えられている
- ★ 吐物や下痢便にウイルスを大量に排出し、環境を汚染しやすい（糞便・吐物には1グラムあたり、100万から10億個以上の大量のウイルスが含まれている）
- ★ 物理化学的抵抗性が強いので、ドアノブ等の環境消毒には0.02%、吐物や糞便の処理では0.1%以上の濃度の次亜塩素酸ナトリウムで消毒する。また、熱に強く、失活には85℃、1分以上の加熱を必要とする。酸にも強く、pH3では3時間でも失活しないため、食事をしてpHが3くらいになった胃を通過して腸に達し、感染が成立するためではないかとされている

【ノロウイルスの症状】

- 潜伏期間：1～2日
- 主な症状：吐き気・嘔吐・下痢・腹痛で発熱は軽度
- 通常は1～2日で回復する
- 感染しても発症しない場合や、軽い風邪症状を示す場合がある
- 小児や高齢者では、抵抗力が弱く、重症化しやすいので、特に下痢や嘔吐による脱水や、吐物による窒息・誤嚥性肺炎に注意が必要になる
- ウイルス排出時間：症状消失後1週間程度、中には1ヶ月以上排出する場合があります、感染源になるので注意を必要とする